

佐渡市地産地消フェスタ2014

11月30日(日)、佐和田体育館を会場に「佐渡市地産地消フェスタ2014」が開催され、過去最多となる約4000人が訪れました。

佐渡市では、地産地消推進条例を制定し、それに基づいた地産地消推進計画に沿って佐渡島内の地産地消の推進に努めています。

この計画にある「生産者と消費者を結ぶ交流並びに啓発促進」「6次産業による地場産業の推進」という基本方針に基づいて年1回開催しているのが「地産地消フェスタ」です。今年度は、佐渡出身の販売コンサル竹谷知江子先生をお招きし、ポップの作り方についての助言をい



なぐもさん(左)と竹谷先生(右)

ただくとともに「ごことだま遊書作家」としての先生のご活動に触れていた

10mのロールケーキづくり に挑戦!

8歳から78歳まで幅広い年代の27人が参加し、市制施行10周年記念にちなみだ10mのロールケーキづくりに挑戦しました。

30cm四方の生地を40枚つなぎ合わせ、生地の下に敷かれたロール紙で3段階にわけて巻くという方法で行われ、相川高校でフードデザインを学ぶ生徒と家庭クラブの生徒からなる精鋭13人がアシスタントスタッフとして参加者を補助しました。

参加者は、高校生スタッフの指示に従いながら、用意された生クリームを塗り、カットされたあんぼ柿を並べ、最後は甲斐市長の「せーの!」の掛け声でロールを巻きましました。



相川高校スタッフと(有)味彩の伊藤哲夫さん、伊藤崇さん

生地の手がけた(有)味彩の伊藤哲夫さんと伊藤崇さんも参加者を細やかにフォローし、参加者の皆さんの息もぴったりで、3回目の「せーの!」の後、見事10mのロールケーキが完成しました。

完成後のロールケーキは、高校生スタッフによりカットされ、参加者や来場者に配られ、約400カットのロールケーキは瞬く間に皆さんの胃袋にしまわれました。

佐渡まるごとふれあい市

「ワンコイン運動で佐渡を元気にしよう!」をテーマに、30店舗が参加しました。

主催者の「佐渡まるごとネット

ワーク」では、毎年恒例の「農家レストラン」を開店し、煮しめ、自然薯、ご飯を販売。用意した250食が、販売後約1時間で完売しました。また、お馴染みの「まるごと鍋」は、佐渡産の黒豚を使ったトン汁が初登場。ご飯とのセット販売は瞬く間に完売となりました。

食育クイズ

「何が入っているかな?」

食育の観点から、昨年に引き続き佐渡市の栄養士が特設したコーナーです。

具沢山の鍋を実際に食べてもらい、食材を当ててもらおうというクイズコーナーです。正解者には学校給食の米粉パンが景品としてプレゼントされました。老若男女を問わず大勢の方が楽しんでいました。



食育クイズ「何が入っているかな?」